



ひとつの命 自分の命は自分で守る

交通事故から学ぶこと

6月7日に津市内の中学校1年生が、自転車で下校途中に、ダンプカーに接触して亡くなるという痛ましい事故がありました。この中学生は、ヘルメットを正しく着用し、交通ルールを守って自転車に乗っていました。でも、事故は起こってしまったのです。

朝、「行ってきまーす」と家を出たとき、この中学生もそのご家族も、夕方にはまた一緒に語り、一緒に夕食を食べるものだと思っていたはずです。当たり前のように……。でもそうではなかった。

ついつい「自分は大丈夫!」と忘れてしまいますが、そうではないことをこの事故は教えてくれています。「たまたま自分は事故に遭ってない」だけではないでしょうか。

命は一つしかないこと、自分の命は自分で守るという気持ちをしかりもって、今一度、道の歩き方、自転車の乗り方について振り返ってほしいと子どもたちに伝えました。

子どもたちも、そして私たち大人も、この事故から学ばなければならないことがあると思います。自宅から500メートル以内での交通事故が最も多いそうです。ご家庭でも、子どもさんと一緒に交通安全について話し合う機会をもっていただければと思います。



安全な歩き方についての3つのお話

- ① 道路は右側を歩く
- ② 信号を守る
- ③ 飛び出しをしない



自転車の乗り方についての3つの左

- ① 左側通行
- ② 左から乗って左へ降りる
- ③ ブレーキは左からかける

※ ヘルメットのおご紐は、指1本～2本の余裕で調整

PTA 本部の方にご協力いただき、「交通安全教室」をスムーズに行うことができました。ご協力、ありがとうございました。

誘拐防止教室を実施しました 「イカのおすし」覚えていますか？

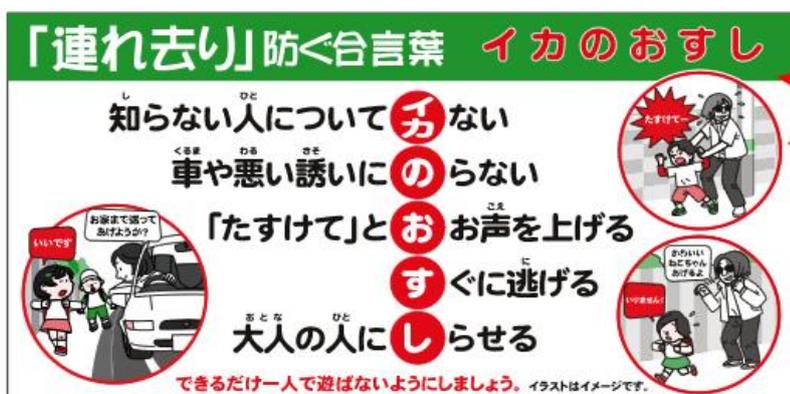
6月6日（月）に、警察の方に来ていただき、1年生の誘拐防止教室を実施しました。

毎年度1年生を対象に誘拐防止教室を実施していますが、2年生以上の子どもたちは、不審者から身を守る合言葉「イカのおすし」を覚えているでしょうか。不審者から身を守ることも、自分の命を自分で守ることにつながります。

また、犯罪をしようとしている人間の多くは警戒心が強いので、挨拶など声をかけが多い地域では犯罪をあきらめることが多いとのことです。また、子どもに声をかけようと思っている不審者の多くは相手から先に大きな声であいさつされると自分はこの地域で認知されていると感じてひるんでしまうそうです。「挨拶の大切さ」と「防犯」について、ご家庭でも話し合っていたらと思います。



集中して聞いています



子ども見守り隊の方々との対面式開催

6月8日（水）には、楡形小学校子ども見守り隊の方々と子どもたちとの対面式を行いました。今年度は、保護者の方々、PTA 役員さん、地区委員さんをはじめ、地区の民生児童委員さん、地域の有志の方々28名の登録をいただきました。見守り隊の皆様や地域の皆様には、子どもたちの登下校の時間に合わせて、ゴミ出しや散歩等「ながら見守り」をしていただくとありがたいです。



「行ってきます」「ただいま」「ありがとう」という子どもたちの声の響くように、子どもたちの安全を守る取組にご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

PTA奉仕作業 大変お世話になりました ありがとうございます！

6月4日（土）のPTA 奉仕作業には、たくさんの地域の方々も、早朝の6時から草刈り機等の道具を持って駆けつけてくださいました。運動場やプール周辺、体育館の裏、学校へ上る道の両脇等、どの場所も見違えるように大変きれいになりました。土曜日にもかかわらず、多くの方々にご協力いただき本当にありがとうございます。また、6月8日(水)の対面式の後には、毎年恒例の「通学路きれいにしよう大作戦」。子どもたちは見守り隊の方々と一緒に、通学路のごみを拾いながら帰りました。学校も通学路もきれいになり、子どもたちは安全に気持ちよく過ごすことができます。地域の皆さま、保護者の皆さま、子どもたちのために、いつもありがとうございます。

